

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団
令和3年度 第2回評議員会議事録（抄本）

1 開催日時

令和3年6月14日（月） 10時00分から11時10分まで

2 開催場所

新潟市水族館マリニピア日本海 2階団体休憩室（新潟市中央区西船見町 5932-445）

3 評議員現在数及び定足数

現在数7人、定足数4人

4 出席評議員数 6人

（出席） 鈴木倫明 評議員、雲尾周 評議員、山口誠二 評議員、齋藤聖治 評議員、松本ま
いこ 評議員、菊池美和 評議員

（欠席） 塚原進 評議員

5 出席理事及び監事

（理事） 高橋道映 理事長（代表理事）、近藤博 専務理事（代表理事）

（監事） 山岸誠一 監事

6 その他出席者

（事務局） 石田孝 事務局長、野村卓之 水族館長、大和淳 副館長、加藤治彦 参事、齋藤淳
管理課長、佐々木美智子 管理課主査、工藤隆生 文化政策課係長

7 決議事項

議案第1号 令和2年度事業報告及び決算の承認について

議案第2号 理事の選任（重任）について

議案第3号 理事の選任について

8 報告事項

職務執行状況報告書について

9 議事の経過の要領及びその結果

(1) 出席者の確認及び議長の選出

石田事務局長が出席者の紹介を行い、配付議案の確認をした。その後、定款並びに評議員会運営規程に基づき鈴木評議員が互選により議長に選出され、鈴木議長が開会宣言を行った。

(2) 評議員の出席状況の確認及び議事録署名人の選出

鈴木議長が、評議員会運営規程に基づき事務局へ出席状況の報告を求め、石田事務局長より定款並びに評議員会運営規程に規定する評議員の過半数の出席を満たしており、本評議員会は有効に成立している旨の説明があった。

議事録署名人は定款並びに評議員会運営規程に基づき鈴木議長並びに議長の指名により山口評議員及び齋藤評議員とし、議案の確認後、審議に移った。

(3) 議案第1号 令和2年度事業報告及び決算の承認について

鈴木議長が上記議案について、理事からの説明を提言した。これを受け、石田事務局長が事業報告及び決算についての説明を行った。

事業報告は、事業概要・事業内容（公益目的事業：1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及

び保護継承事業(1)海洋・河川文化の普及啓発(2)海洋・河川文化の調査研究(3)海洋・河川文化の保護保全、2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業(1)水生生物に関する知識の普及振興、(2)水生生物の収集、飼育、展示、収益事業：1 施設管理に付帯する事業)について説明がされ、決算については、財務諸表(貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録)に基づき資産、負債、正味財産及び公益認定の財務基準である収支相償、公益目的事業比率(95.73%)を満たしているとの説明がされた。

続いて、監事を代表して山岸監事から業務執行は適正に行われていたこと、財政状態及び会計決算については、財務諸表に適正に表示されていたと報告があった。

説明終了後、本議案に関して、次のとおり質疑応答があった。

(雲尾評議員) 事業報告1ページ概要について、最後の文章だけ「～いく」(未来形)となっていて、他は過去形になっている。どのような事情があるのか？

(石田局長) JAZA 日本動物園水族館協会及びJAA 日本水族館協会の会員として継続事項であるため、その立場を確認して今後の展開、新たな取り組みについて決意を表明したということで理解していただきたい。

(雲尾評議員) やってきたということが含まれている言うことで良いか？

(石田局長) そのとおりである。

(雲尾評議員) 4ページ「日水研」「北水研」の略称があるが、正式名称は？

(野村館長) 「日水研」は現在、名称が変わっている。

(雲尾評議員) 狭いところに記載するので、略称はやむを得ないと思うが、正式名称を記載したほうが良いと思う。また、「クラゲ」での「加茂水族館」は6ページでは「鶴岡市立加茂水族館」となっている。標記の徹底をしたほうが良い。

(雲尾評議員) 4ページ「クロヌタウンナギ・ミズダコ」での「設置すし」の「す」の文字が不要である。

(雲尾評議員) 6ページ「イルカの健康管理解説」での「ボディチェック」というのは、通称として使われていると思うが、日本語では何と標記するか？

(石田局長) 肌に触れることによる体調管理を表現している。

(雲尾評議員) 日本語で標記できるものは、日本語にしたほうが良い。

(石田局長) 今後検討する。

(雲尾評議員) 8ページ「マリンピアI乗船」の「I」の読み方は“ワン”で良いか？

(石田局長) 水族館で所有する船で“ワン”が良い。

(雲尾評議員) 同じく8ページ「フンボルトペンギン交換」は、4園館でローテーションしたのか。そういった意味で、3園館並べて1回ということか？

(野村館長) 各施設、それぞれの交換で3回である。

(雲尾評議員) 枠で言うと各1回が正式か？

(石田局長) 各1回である。

(加藤参事) 一筆書きでやったため混乱してしまった。

(菊池評議員) 事業が非常にたくさんあり、指定管理者としてしっかりやられていると思うが逆に多すぎる印象がある。飼育の現場は、しっかり動物を見て飼うというのが一番の基本である。これだけの多い回数をこなして飼育員は大丈夫かと個人的

には心配で、その体制がしっかりしているか気に掛った。ただし、非常に充実していて、様々な生物種について普及啓発、健康管理、調査全てやられているので、現場の方々と動物は大丈夫かと心配になった。

(石田局長) ありがとうございます。イベントその他については、主に飼育職員からの提案になるので、全体としては無理のない形で出来ているのではないかと考えている。

(松本評議員) コロナ禍での開館、運営大変だったと思う。このような状況で、前年度比 71.5%の入館者数で大きな減少ではなかったが、何か工夫したことはあるか？

(石田局長) リニューアル後、年間パスポートの販売に力を入れて、年間 14,000 人程購入していただいている。繰り返し来られる地元の方が多いので、昨年度は年間パスポートによるリピート率が、月によっては 3 割を超え、入館者全体に占める割合が多くなった。入館者数はそのような方々に支えられた。

(松本評議員) 年間パスポート販売の啓発はどのような方法をとったか？

(石田局長) 以前は、年間パスポートの存在をあまりお知らせしていなかったが、近年は積極的に広報し、通うことで変化が見られることが良い方向に向かったのではないかとと思う。

(松本評議員) 財務諸表 2 ページ付帯事業収益が 20,000 千円マイナスになっているが、付帯事業とはどのようなものを差すか？

(石田局長) レストラン、売店等の売上の協力金になる。特にお土産は遠方から来られる方が良く購入されるため、そのまま数字に反映されている。

(松本評議員) 地元のリピート客が増えて観光客が減ったことが要因か？

(石田局長) そのとおりである。

(斎藤評議員) 事業報告 7 ページ 採集した生物は展示しているか？

(野村館長) 可能な限り展示につなげている。展示生物は自家採集が基本である。身近に感じてもらうため重要な活動である。ただし、深海生物など自家採集できない生物は、漁師にお願いして漁船に乗せてもらっている。

(斎藤評議員) 漂着物に「サケガシラ」があり、先日もダイオウイカが漂着したとツイッターにあったが、子供たちは深海生物が好きなのでいろいろなものを展示し、子供たちが喜ぶ場所にしていきたい。

(松本評議員) 先々週、子育てサークルの友達と一緒に五十嵐浜でゴミ拾いをした。子供を合わせて 20 人くらいで、流木もあったが、プラスチックゴミがたくさんあり拾い切れないくらいあった。昨年も評議員会で話をさせていただいたが、きっかけは、SDGs のカードゲームをみんなでやり、自分たちでできるアクションを何か考え、それで海のゴミ拾いをやろうということになった。ゴミを拾うことだけだと面白くないので、拾ったもので秘密基地を作ることになって、子供たちは秘密基地を作るために漂流物をたくさん取りに行っていて楽しかった。最後は海洋プラスチックの問題が深刻化しているということを絵本で読み聞かせをおこなった。自分の娘もそれが心に響いたらしく、道端に落ちているプラスチックを拾ったり、また海のごみ拾いをしたい、プラスチックごみを 1 回で捨てる

のはもったいないと言い始めた。私たちは生物を当たり前のように見させていただけだが、その裏に潜む環境問題や海に関する現状などを知ってもらえると、もう一步、海に対する理解が深まってくると感じた。何か取り組みや可能性があれば検討していただきたい。

(石田局長) SDGs に関していえば、14 番目に「海の豊かさを守ろう」という項目があり当初からイルカショーや給餌解説の中で最後に環境問題について触れている。最近では、水族館独自で近くの海岸で毎月 1 回清掃活動を行っている。その他検討しているのは、レストランのストローやプラスチックの容器を減らしてほしいとお願いしているが、経費が掛かるので今後検討していく。また、ペットボトルのキャップで生物が誤飲しないよう、館内ではペットボトルの自動販売機を置いていない。これもプラスチックごみ削減につながっている。また、校外学習でも講義の依頼があり水族館の取り組みを紹介している。

(松本評議員) もしよければ、ごみ拾いも市民にオープンにして、例えば年間パスポートの方と一緒に飼育員と合流し、漂流物があれば聞きながら活動すると面白いと思う。

(野村館長) 夏の企画展示で海を漂うモノをテーマに漂着物の展示を行う予定で、現在準備中。生物の展示のほか海洋ごみの展示も行う。

(大和副館長) 本日、午後から太夫浜小学校で授業を行う。太夫浜小学校では 2012 年に近くの海岸でウミガメが産卵したことをきっかけに、毎年、海岸清掃を行っている。昨年から、その前に授業を行っている。

(山口評議員) 私、新潟観光コンベンション協会におりまして、昨年、コロナで全くやりたいことができなかった 1 年だった。マイクロツーリズムということで、市内の方は身近なところ、県の中で動いたという印象だった。水族館は、市内であれば幼稚園、保育園の遠足で良く来られていると思うが、教育旅行（修学旅行）の部分では、県内の中学校では県内で動くことが多く、県内回帰したのではないかと思う。新潟観光コンベンション協会の中では教育旅行に対し補助金制度を設けた。例えば 1 施設 1 人に対し 500 円補助やバスに対する補助を設けたところ予算上限を超えた。我々の活動を紹介しつつ、コロナ禍で幼稚園、保育園の入館状況、また教育旅行の伸び、福島ナンバーの車の状況を教えてほしい。もう 1 点、以前、取水設備の老朽化により困ったという話を聞いたことがあるが、現在は大丈夫か？

(石田局長) 団体の数は少なくなったが、上・中越の中学校は多くみられた。また、GWでは福島のほか隣県のお客が多くみられた。

(斎藤課長) 取水につきましては、取水管を沖合に 200m 延長しましたので、現在は問題なく取水できている。

(近藤専務) 入館者数の昨年度比 70% ですが、コロナの関係で多い場合は入館制限を掛ける体制を取っていた。幸いにも制限するまでにはならなかったため、そういう意味では昨年度比 70% が多いか少ないかは難しいところである。

(山口評議員) 新潟市勤労者サービスセンター（ニピイ）が取り扱いを始めたのでその影響があったのかと思った。

(石田局長) 新潟市勤労者サービスセンター(ニピイ)は今年度から取り扱いを始めたので今後、影響が出る可能性はある。

(菊池評議員) カマイルカの出産に関して、カマイルカは出産させるのが大変であるが、連続して出産できたことは素晴らしいと思った。出産に向けて工夫したことはあるか？

(野村館長) 1回目の出産に際し、照明を調整した。その影響があると思われる。

質疑応答を経て、審議の結果、本議案は、出席評議員の満場一致で原案どおり可決承認された。

(4) 議案第2号 理事の選任(重任)について

鈴木議長が上記議案について、理事からの説明を提言した。これを受け、石田事務局長から理事任期満了に伴い、以下のとおり理事の重任する旨の提案について説明がなされた。

(重任)

高橋道映、近藤博、西源二郎、鈴木緑、石田克弥、小口彩

※任期は、令和3年6月14日から令和4年度に関する定時評議員会までとする。

その後、候補者ごとに審議を行い、各候補者ともに出席評議員満場一致で原案どおり可決された。

(5) 議案第5号 理事の選任について

鈴木議長が上記議案について、理事からの説明を提言した。これを受け、石田事務局長から、以下のとおり理事を選任する旨の提案について説明がなされた。

(選任)

飯田碧

※任期は、令和3年6月14日から令和4年度に関する定時評議員会までとする。

その後、候補者ごとに審議を行い、各候補者ともに出席評議員満場一致で原案どおり可決された。

(6) 職務執行状況報告書について

鈴木議長が上記報告事項について、理事からの説明を提言した。これを受け、近藤専務理事が次の内容についての報告を行った。

- ・第1回理事会の報告について

事業報告及び決算の承認、評議員会の開催について、全議案滞りなく可決された。

- ・新潟市水族館の管理運営について

新型コロナウイルス感染拡大により、臨時休館をはじめ、事業の中止や感染拡大防止への対応など様々な影響を受けた。現在も引き続き感染拡大防止に努め、管理運営を行っている。こうしたことから、令和2年度は、入館者数36万4千人、対前年度比71.5%。入館料収入296,047千円、対前年度比68.4%であった。今年度は4・5月の実績として入館者数が6万7千人、入館料収入が51,733千円、昨年度は臨時休館の期間があったため、対前々年度比68.1%、入館料収入が対前々年度比59.1%であった。

- ・新規生物(ウミガラス)の展示について

昨年3月のラッコ死亡後、展示をしていなかった水槽に新たに「ウミガラス」5羽を展示。東京都葛西臨海水族園との間でブリーディング・ローンにより当館で飼育・展示すること

となった。飼育・展示は、国内水族館では東京都葛西臨海水族園、アクアマリンふくしまに次いで3館目。

・月次監査（外部）の報告について

毎月、外部から監査をしてもらい適正に会計処理がされている旨の報告を受けている。

以上をもって、全ての議案の審議及び報告を終了したので、議長は11時10分に閉会を宣言した。

上記の議事の経過の要領及びその結果並びに報告事項が正確であることを証するため、議長及び出席した評議員2人は記名押印する。

令和3年6月14日

公益財団法人新潟市海洋河川文化財団

評議員会議長

鈴木 倫 明

評 議 員

山 口 誠 二

評 議 員

斎 藤 聖 治
